

# 調査・研修等計画届出書

令和7年11月4日

瀬戸市議会議長 様

議員名 小澤 勝

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会	
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	11月11日（火）14:00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 11月12日（水）10:30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	・富田 宗一・宮蘭 伸仁・三木 雪実・山内 誠一郎 ・高島 淳・朝井 賢次・黒柳 知世	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和7年12月5日

瀬戸市議会議長 様

議員名 小澤 勝

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>11月11日（火）14:00 から</p> <p><b>国土交通省</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について</li></ul> <p><b>厚生労働省</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公立病院の全国的な経営状況について</li><li>・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について</li></ul> <p>11月12日（水）10:30 から</p> <p><b>文部科学省</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察</li></ul>

調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等

11月11日（火）14：00から

場所：国土交通省

担当：国土交通省 道路局 国道・技術課 課長補佐、計画係長

・研修テーマ

国直轄事業としての“記念橋 上之山線（国道155線）”の早期促進について

山口歩道整備事業は、山口駅や周辺地域から、小中学校への歩道（通学路）を整備するもの、当該区間は、歩道未整備・狭隘区間があり、車道部を大型車が多く通行することから、危険な状況であった。

歩道整備延長0.6kmのうち、約0.5kmが整備完了。

残る約0.1kmについては用地買収・工事を推進中。

今後、残りの工事予定として東本町～萩殿町間の継続的な事業計画を進捗していただきたく国の基本的な考え方、取組予定を伺いたいと研修の機会を設けていただきました。

\*国交省：

国の予定として変更は考えておりませんが、地元の協力とご理解が、まずは基本であり、道路施策は期間に係るもので地権者のご理解があつての道路行政で、ご理解をいただきたいと思うところです。

\*自民新政クラブ：

地権者の方たちのご理解を頂くには、地元は元より市の担当課を始め地元市議など協力体制を強固にし事業進捗を速めていきたいと考えております。

この道路地域は、近年人口減少の折、住宅開発が進み定住人口増に繋がっております。

特に、30代から40代の若い世代の人口が増加して、子供さんの増加にも繋がっており、歩道整備が急務と考えます。

\*国交省：

今後においても、瀬戸市の担当課と名古屋国道との連絡を密にして情報共有を図り進めていただければと考えます。

\*自民新政クラブ

我々としても、国の直轄事業として引き続き先の理由による事業継続を是非進めていただくようお願いいたします。

11月11日（火）15:00から

場所：厚生労働省

担当：医政局 医療経営支援課医療法人支援室長

自治財政局準公営企業室 課長補佐

＊自民新政クラブ

本市の公立病院は本市を含め3市での負担金を持って運営を行っておりますが、近年赤字経営で特に本年においては、3市での補正予算をもって運営を行うのが実情です。

今後において赤字補填を行っていくには、非常に厳しい環境になっております。そこで、診療報酬の増額改正などの医療環境を含め、担当部局のお力をお借りしたくこの機会をいただき感謝するものです。

＊厚労省：

全国の公立病院の令和6年度決算の状況として、83.3%が赤字の現状でその要因として、診療材料費、水道光熱費、委託費などが物価高騰により上昇しており、さらに人件費のベースアップなどが大きな要因の理由と捉えております。また、救急医療、周産期医療体制や産科・小児科医療など人的経費や病床経費また急性期医療などが経費増大の一因になっていると考えます。

＊自民新政クラブ

診療報酬・介護報酬の改定や有資格者の対する報酬の待遇改善など早期に見直しを図っていただき、地域医療の中心的な公立病院の経営維持改善に目を向けていただきたく思います。

＊厚労省：

民間を含めた医療機関や介護施設への支援なども急を要し、継続的に賃上げできる環境を整えることこそが政府の役割ですし、厚労省としても高齢化に対応した医療体制の再構築も必要で、入院だけでなく外来・在宅医療や介護との連携を含む地域医療構想を策定してまいります。

＊自民新政クラブ

赤字に苦しむ医療機関や介護施設への対応は待ったなしで、報酬改定の時期を待たず、経営の改善、従業員の処遇改善につながる補助金を措置していただくことをお願いいたします。

11月11日（火）16：30から

衆議院の予算委員会が開催されておりましたので、折角の機会なので傍聴をお願いし、許可いただき傍聴させていただくことができました。

11月12日（水）10：30から

場所：文部科学省

担当：文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部 施設助成課 執行係長

文部科学省 総合教育政策局 健康教育・食育課 学校給食・食育係長

\*自民新政クラブ

本市は給食センターとして5中学校、単独校15校（特別支援学校を含む）で給食を運営しております。

近い将来に老朽化に伴い、建替えを行うにあたりドライシステム方式の給食室を検討しておりますが、今後、センターに進むか現在の単独校の増改築で進みか苦慮しており、国の補助制度を利用したメニューを研修に伺いました。

\*文科省：

国の補助制度として、“学校教育施設等整備事業債”として新築は国が2分の1、増改築には国が3分の1補助制度があります。また、総務省の“公共施設等適正管理推進事業債”として国が2分の1の制度があります。

瀬戸市さんがどの方向に向かわれるかは、国として方向を定める訳ではないので総合的に瀬戸市さんで決めて頂ければと思います。

\*自民新政クラブ：

食育の観点からみると、単独校の調理は地産地消や出来立てを児童に提供できることなどの利点が上げられますが、単独校の調理室の増改築に関するスペースやドライシステム化や空調理などの環境整備など課題も多くありますが、参考となる事例があれば紹介いただきたいと思います。

\*文科省：

新潟県見附市の事例を紹介させていただくと、

- ・学校給食調理業務を民間委託するとともに、給食センターの非稼働時間帯を受託事業者へ有料で貸出し、施設を有効利用
- ・貸出収益を基金に積立て、将来における施設更新時の負担を軽減
- ・課題—建設費だけでなく、維持管理費も財政的負担が大
- ・取組—非稼働時間帯を有効活用する事業者を公募型プロポーザルで選考
  - 受託事業者に学校給食調理業務以外の時間帯を有料で貸出し
- ・成果—一年間で収益が見込まれる

一収益は、学校施設建設基金として積立て、将来の施策更新や修繕費に充当することが可能となり財政負担が軽減

\*自民新政クラブ：

本市独自で今後の給食の在り方も児童生徒を中心に、より良い給食の環境づくりを考え検討していきたいと思えます。

- ・事例として、最近取り組まれた事例があればお聞かせください。
- ・今後、給食費無償化はどのようなスケジュールで進むか参考にお聞かせ下さい。

\*文科省：

- ・最近の事例として、東京都小平市が良いのではないかと。
- ・無償化は、三党合意がなされておりますので、概ね月に4千7百円を目途に国の算定基準額が進むのではないかと考えます。

11月12日（水）14：00から

参議院で地元の藤川予算委員長の元、予算委員会を約1時間に亘り機会を得て傍聴させていただきました。

その後、東京駅から新幹線にて帰省、午後7時頃新瀬戸にて解散しました。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

今回は、本市が抱える当面の課題について、関係する部署による研修を行っていた3会場で有意義な勉強会が出来ました。

上京し、政府機関の担当部署と直接、意見交換を行い、補助制度や施策の考え方、方向性などを研修し、地元の実情や取組など直接に膝を交えてお話ができ、国の指針を直接感じることができ大いに実のある視察研修ができたと思えます。

また、衆参の両予算委員会を限られた時間ですが傍聴することができ、有意義な経験ができ貴重な体験や時間を過ごすことができました。

地方政治ですが、国の施策との関連や考え方・方向性を研修でき充実した時間を過ごすことができ、今後、本市の施策が事業推進に向け、国、県、市と繋がり事業展開の進捗に寄与する一助になればと思えます。

# 行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 11 月 11 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	330	円	円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km	6,600	円	円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	4,920 円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
アパホテル小伝馬町駅前					0570-042-411		15,396 円		
備考欄									

27,246 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 11 月 12 日	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km	6,600	円	4,920 円
	名古屋	JR	片道	高蔵寺	24	km		円	円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	330	円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 11,850 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

15,396 円

23,700 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

39,096 円